

岡山大学病院は、造血幹細胞移植推進拠点病院の事業として、造血幹細胞移植に携わる専門的な医療従事者、及び地域の医療従事者の育成を目的としたセミナー、実地研修を行っています。

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業

第2回 中国ブロック（HCTC） 造血細胞移植コーディネーターセミナー アンケート報告

2017/10/8（日・祝）13：30～17：00

岡山コンベンションセンター 301会議室

日本造血細胞移植学会 と 人材育成担当の拠点病院3施設 が連携した内容のセミナーを企画いたしました。

参加者48名：看護師28名 HCTC10名 血液内科医師5名 小児科医師2名 歯科衛生士1名 看護教員1名 事務職員1名（岡大含めて17施設参加）

講演

13:30-14:10

「男性患者のOncofertilityと看護者の役割」

岡山二人クリニック 不妊症看護認定看護師 大月 順子 先生

14:10-14:50

「造血細胞移植を受ける子どもと家族への看護」

広島大学病院 小児看護専門看護師 笹木 忍 先生

15:00-15:55

「血縁者間移植コーディネーター ～HCTCと看護師の役割を考える～」

兵庫医科大学病院 学会認定HCTC 川口真理子 先生

16:05~16:55 基調講演

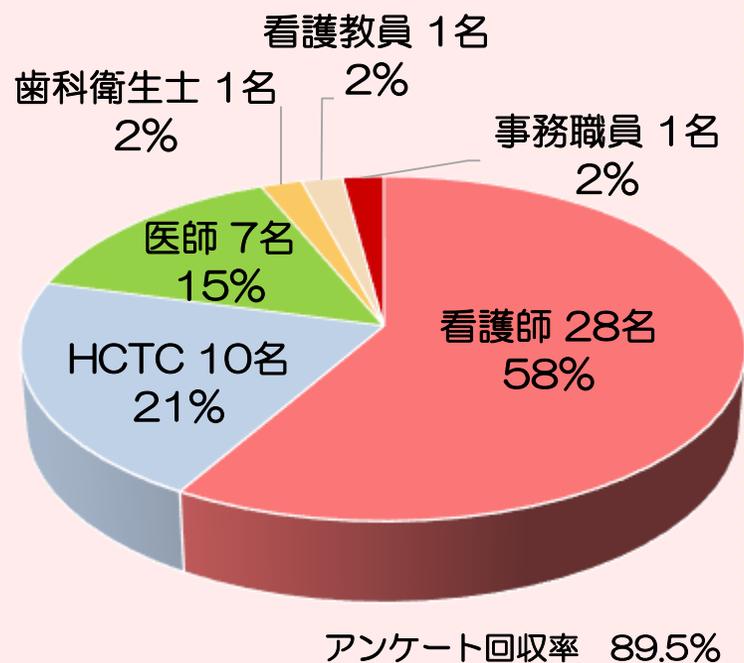
「HCTC育成の現状と今後 ～新認定制度について～」

広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野
日本造血細胞移植学会HCTC委員会委員長 一戸辰夫 先生



第2回 HCTCセミナー アンケート報告 -セミナー全般について-

ご参加者の背景



ご参加者の内訳 (アンケート結果による)

◆看護師 27名

- ①患者さまへ主に関わっている 22名 (うちドナーさまへも関わり 1名)
- ②患者さま・ドナーさまにほぼ同等に関わっている 3名
- ③その他 (血液センターなど) 2名

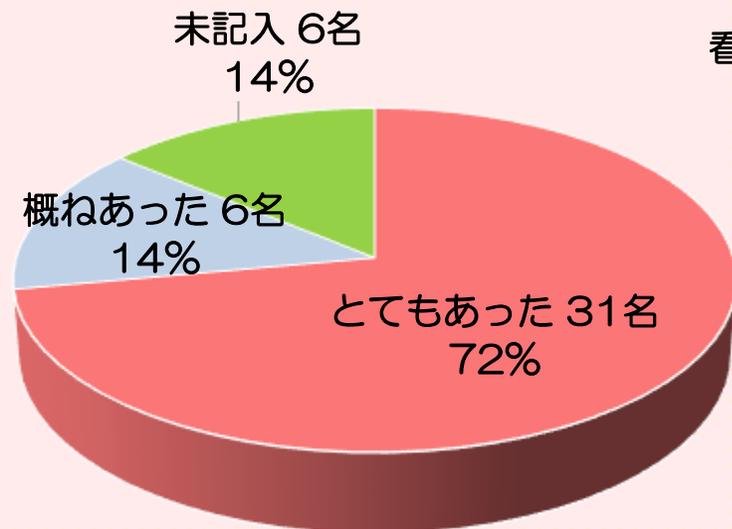
◆HCTC 9名 (うち看護師 2名)

◆医師 7名 (うち血液内科 5名 小児科 2名)

◆歯科衛生士 1名 ◆看護教員 1名 ◆事務職員 1名

第2回 HCTCセミナー アンケート報告 -セミナー全般について-

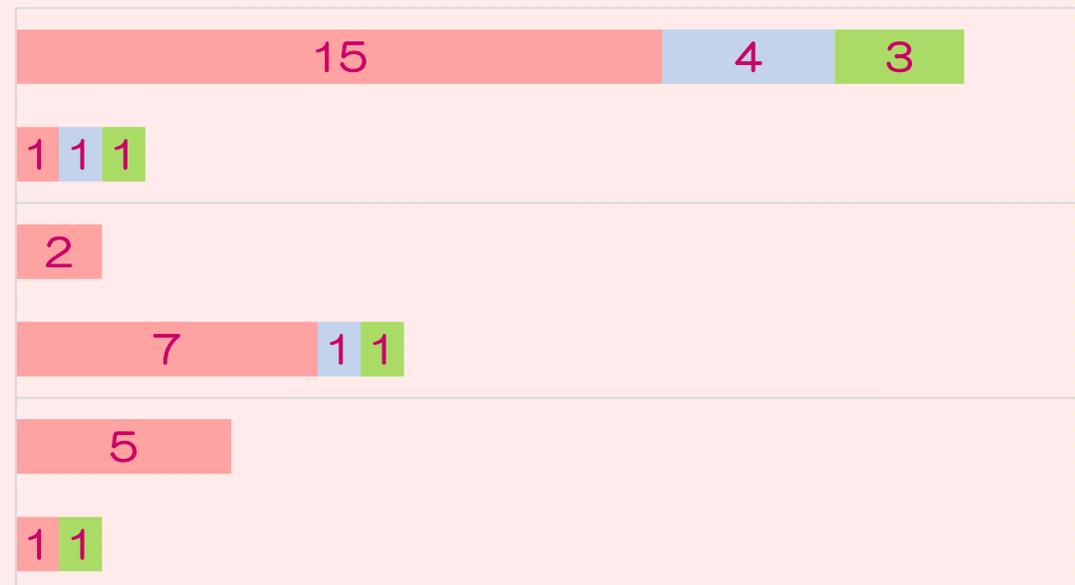
セミナーの参加意義



【とてもあった】

- ・HCTCの話がたくさん聞けてよかった。
- ・たくさん勉強になった。

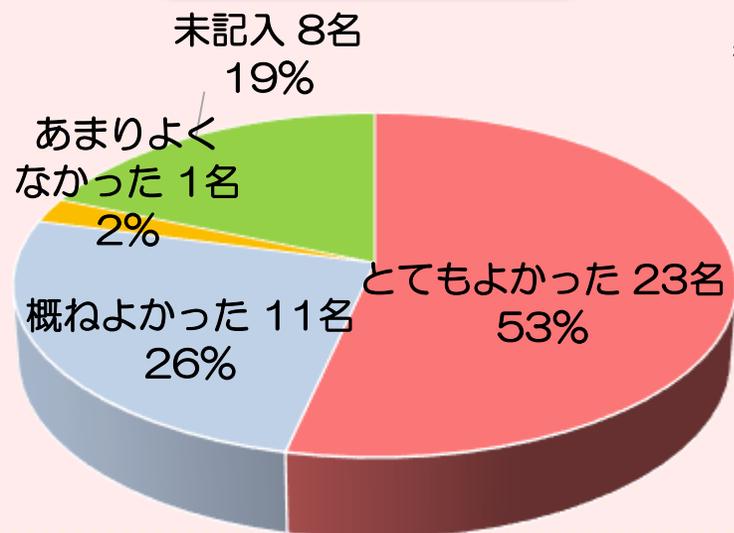
看護師（患者側）
 看護師（患者・ドナー同等）
 看護師（その他）
 HCTC
 医師
 その他



■ とてもある ■ 概ねある ■ 未記入

第2回 HCTCセミナー アンケート報告 -セミナー全般について-

セミナー全般の評価



【あまりよくなかった】

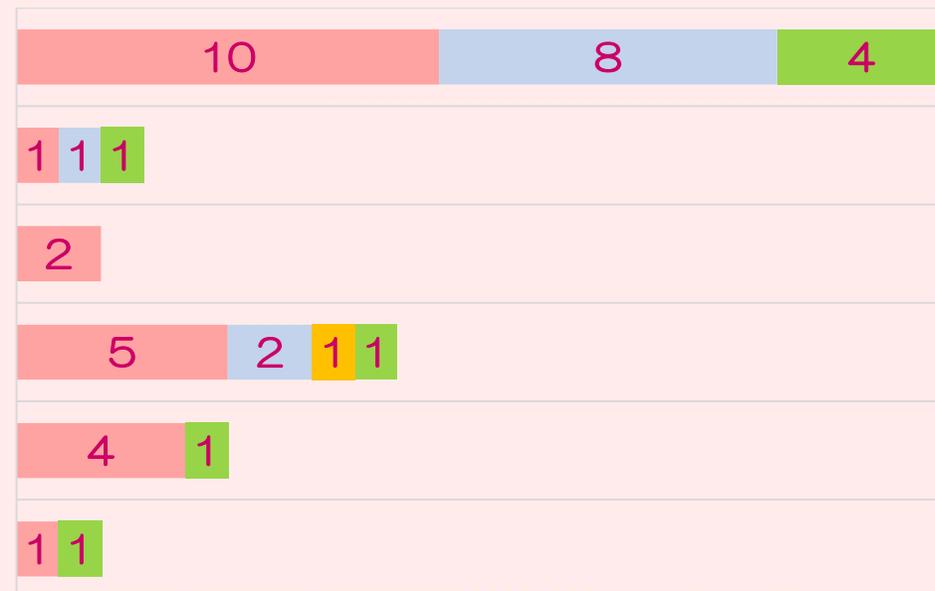
・HCTCが実践しやすいテーマがもっとあってもよかったと思う。

看護師（患者側）
看護師（患者・ドナー同等）
看護師（その他）

HCTC

医師

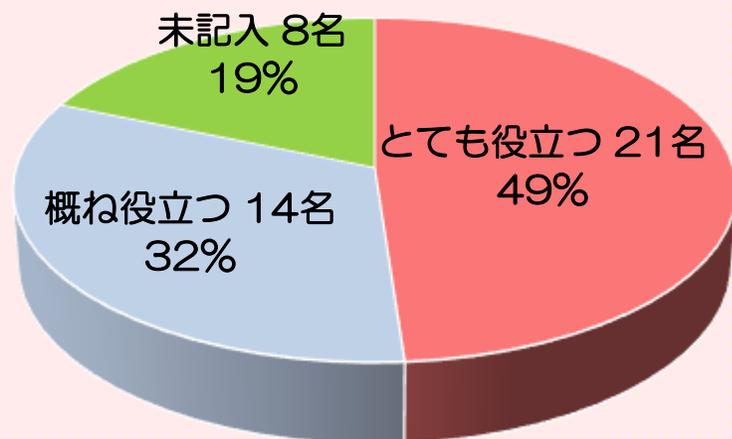
その他



■ とてもよい ■ 概ねよい ■ あまりよくない ■ 未記入

第2回 HCTCセミナー アンケート報告 -セミナー全般について-

セミナーの役立ち度



【とても役立つ】

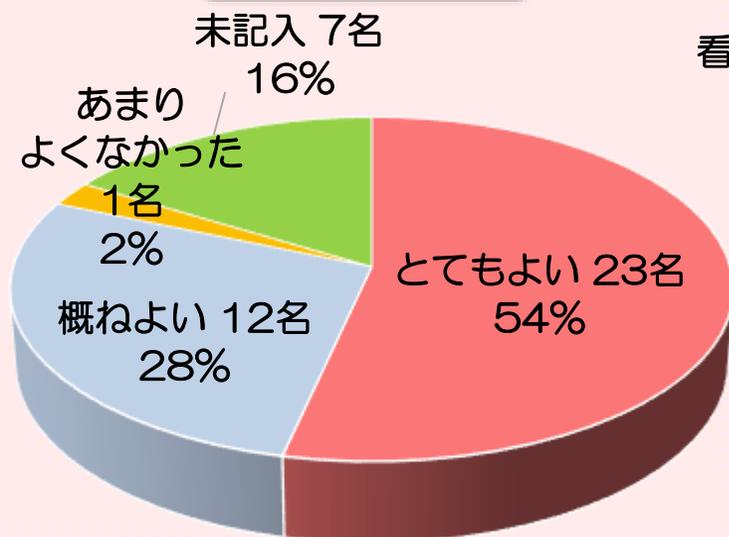
- 業務に直接役立つ。また参加したい。



■ とても役立つ ■ 概ね役立つ ■ 未記入

第2回 HCTCセミナー アンケート報告 –セミナー全般について–

プログラム構成



看護師（患者側）
 看護師（患者・ドナー同等）
 看護師（その他）

HCTC
 医師
 その他



■ とてもよい ■ 概ねよい ■ あまりよくなかった ■ 未記入

【あまりよくなかった】

・講演テーマが「看護」となっており、HCTC向けというよりは、看護師向けの構成のよう感じた。

第2回 HCTCセミナー アンケート報告 —講演について—



大月順子先生 「男性患者のOncofertilityと看護者の役割」

- もっとお聞きしたいと思える内容で、明日から活かせるものだった。
- デリケートな内容だが、一般スタッフももっともっと理解を深める必要があると思った。直接事例として関わりはないが、必要なこととして考えて、関わっていききたい。
- 女性の妊孕性温存について、男性は治療開始前1日と短期間で採取が可能だが、女性は一ヶ月弱かかるため、治療を先延ばしにすることができず、説明にも困ることがある。妊孕性温存の現状と今後の最新治療法があれば知りたい。
- 男性不妊に特化したお話を聴く機会があまりなく、有用だった。

- ▶ 二人クリニックさんで採取する患者さまが多いが、ここまでケアしてもらっていると知り、自施設での患者さまへの説明時に役立たせると感じた。
- 妊孕性希望では、女性しか関わったことがなかったので役立てたい。がん患者さまの妊孕性などについて詳しい医師、看護師が少ないため、初めて知ることが多かった。
- 妊孕性について、男性のみでなく女性についても知りたい。資料情報などで知ることができたので、今後活かしたい。

第2回 HCTCセミナー アンケート報告 —講演について—

笹木 忍先生 「造血細胞移植を受ける子どもと家族への看護」

- 小児に関わりがあるので役立つ。 • 具体的な事例もあってわかりやすかった。
- 小児科に行くことがあれば役に立つと思う。
- 現在小児を対象としていないため、実践では役立つ場合が少ないが、とてもわかりやすい内容だった。
- 成人病棟のため、日々の看護で実践するのは難しいが、小児の移植の看護や関わりにも興味を持てた。
- 当院では、小児領域の患者さまは他院へ紹介をしているが、それまでの間の関わりに役立たせていきたい。
- 小児がんに関わる機会が少ないが、発達段階を考えた家族の支援については、小児に限らず大事だと思うので勉強になった。



第2回 HCTCセミナー アンケート報告 —講演について—

川口真理子先生 「血縁者間移植コーディネーター ～HCTCと看護師の役割を考える～

- 実例も入っていて、わかりやすかった。
- 具体的な内容でわかりやすかった。
- 事例スライドがあった方がよかったように思う。
- 素晴らしい講演だった。様々な疑問が腑に落ちた。
- 事例はとてもよかった。
- 現在抱えている事例と重ね合わせて考えることができた。
- 血縁ドナーが入院されることが多いがドナーさんの想いや孤独など、あまり考えたことがなかった。短い期間でもドナーさんに寄り添える看護師でありたいと思う。
- HCTCではないが、中立でありたいと思う。
- 当院ではHCTCがない。患者さんのみでなく、ドナーさんのフォローやIC同席は、病棟看護師がしている。その中で、どうしても患者さん側の立場になることが多く、もう少し深く関わりたいと思った。



ドナーさんの本当の思いが分からないので、

第2回 HCTCセミナー アンケート報告 —講演について—

—戸辰夫先生 「HCTC育成の現状と今後 ～新認定制度について～

- HCTCの制度についてや、具体的な仕事内容について聞くことができてよかった。
- HCTCではないため、実務で役には立たないが、知識としては大変勉強になった。
- 制度をクリアに説明いただき、わかりやすかった。



第2回 HCTCセミナー アンケート報告



昨年度のHCTCセミナーは、「HCTCって何？」をテーマに、「HCTC」という職種や役割を知っていただく周知に近いセミナーを開催しました。

本年度は「役割」をテーマに、がん生殖医療の患者さまとの関わり方、移植を受ける子どもとの関わり方、「HCTC」という職種と看護師、また骨髄バンクコーディネーターとの立ち位置を考えることで、自分の役割を見直すきっかけにつながれば、といった願いを込めてセミナーを企画いたしました。

今回、HCTCの認定制度が新しくなるにあたり、HCTCの育成の現状や今後について、HCTCだけでなく、医師、看護師、多職種の方に知っていただく良い機会となったと思います。

移植の患者さまには多職種の方が関わります。他院の具体例を通して、それぞれの「役割」について新たな知見が得られ、よりよいチーム医療、ならびに連携につながる一助となれば幸いです。

造血幹細胞移植医療体制整備事業 事務局